



ラボくん調査室 ちょっと学習

「トランス脂肪酸」って知ってる？

トランス脂肪酸について様々な報道やお問い合わせがあります。今回はそのトランス脂肪酸について調べました。



トランス脂肪酸とはどんなもの？

トランス脂肪酸とは脂肪の構成成分である脂肪酸の一種です。大きく分けて工業的に加工した植物油に由来するものと、牛などの反すう動物に由来し、乳製品・肉に含まれるものがあります。トランス脂肪酸を多く含む食品としては以下のようなものがあります。

- ショートニング ●マーガリン ●ファットスプレッド ●パイ ●クリーム
- クッキー ●半生ケーキ ●コーン系スナック菓子 ●マヨネーズ

諸外国における研究結果

- ～トランス脂肪酸の過剰摂取は～
- 冠動脈疾患（心筋梗塞・狭心症等）を増加させる可能性が高い。
- 肥満、アレルギー性疾患（喘息、アレルギー性鼻炎等）について関連性が認められている。
- 妊婦、胎児への影響（胎児の体重減少、流産等）について、報告されている。

日本人のトランス脂肪酸の摂取実態と健康影響

- 日本人の大多数は通常の食生活では健康への影響は小さい。
- ただし、脂質に偏った食事をしている人は留意する必要がある。
- 脂質は重要な栄養素であるので、バランスの良い食事を心がけることが必要。

年齢	1-6	7-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70以上	平均
男性	0.47	0.42	0.36	0.31	0.28	0.27	0.25	0.23	0.24	0.30
女性	0.46	0.44	0.38	0.37	0.36	0.34	0.31	0.27	0.26	0.33

※WT0はトランス脂肪酸の摂取量を総エネルギー摂取量の1%未満を目標ととしています。

諸外国における研究結果によれば、トランス脂肪酸の過剰摂取は冠動脈疾患やアレルギー疾患の関連が認められていますが、こうした研究結果はトランス脂肪酸の摂取量が相当多いケースの結果であり、平均的な日本人の摂取量においてはこれらの疾患リスクとの関連は明らかではありません。

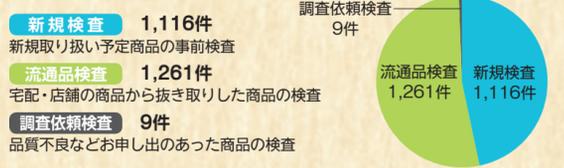


10月度 商品検査報告

商品検査実績

10月に入り、新米の残留農薬検査がピークを迎えつつあります。また、クリスマス商品やおせちなどの迎春商品の事前検査もスタートしました。コープ・ラボに放射能測定機器も入り、放射能検査も今まで以上にすすめていきます。

10月度	微生物	食品添加物	残留農薬	動物用医薬品	PCR	特定原材料	合計
宅配	1,938	194	83	0	4	0	2,219
店舗	112	4	45	0	6	0	167
合計	2,050	198	128	0	10	0	2,386



不適合検査報告

10月度の検査において不適合は8件でした。

前月より7件減少しました。新規事前検査の冷凍食品から大腸菌群が4件検出されました。検査結果を取引先へ伝え、衛生管理、品質管理の徹底を要請しました。

	自主基準不適合	関連法規不適合
微生物検査	3	5
食品添加物検査	0	0
残留農薬検査	0	0
動物用医薬品検査	0	0
PCR検査	0	0
合計	3	5

検査時期	取扱区分	商品名	不適合内容	対応	
新規事前検査	入荷時検査	宅配	てまり寿司	大腸菌群	再検査予定
			ひとくち手巻寿司	大腸菌群	再検査予定
			だいふく十勝あずき	大腸菌群	再検査予定
			オードブルセット	大腸菌群	再検査して適合
流通品(抜き取り)検査	入荷時検査	宅配	笹だんご	大腸菌群	改善指導
			おあげさん	大腸菌群	改善指導
			山菜なめこそば	一般生菌数/大腸菌群	改善指導
期限日検査	店舗	肉うどん	一般生菌数/大腸菌群	改善指導	

※上記の自主基準不適合、関連法規不適合については、商品の安全性に直結する問題はありません。

10月度放射性物質検査報告

10月度の放射性物質検査の結果は、全て未検出(ND)でした。(放射性セシウムに対して検出限界値50ベクレル/kgでの検査結果)

10月度 お申し出についての調査と改善

10月度は332件のお申し出がありました。

2011年度10月の受付件数は、昨年の358件から332件へと26件減少し、昨年対比92.7%となりました。また、4月からの累計では98.7%と若干減少しています。

10月度・申告内容	件数	昨年
異物混入調査	78	90
異味異臭調査	73	91
容器・包装調査	31	26
変色	25	21
人体被害申告調査	12	12
~~~~~ (中略) ~~~~~		
総数	332	358

#### ピックアップ

### 【各種銘柄のお米】で2件、「虫発生」のお申し出がありました。

- 商品名/各種お米
- お申し出内容/「お米に虫が発生している」「袋を開けずに保管していて、使用しようと袋を開けたところ虫を発見した」



#### 調査報告

銘柄にかかわらず虫発生のお申し出は9月に15件、10月に2件ありました。原料玄米に虫(幼虫、蛹、成虫)が付いていた場合でも、精米機や各種選別機、搬送機械で強い圧力や衝撃がかかるため、虫が原形をとどめたまま生産ラインを通過してそのまま米袋に包装されることはありません。しかし卵の場合は、完全に除去できず精米後のお米の糠部分に残ることがあるので、未開封米袋からの虫発生はこのような卵が孵化したものと考えられます。

卵の孵化からの成長は種類によって変わりますが、おおむね夏場で1週間程度で孵化し、1ヶ月前後で成虫になります。冬場でも卵が孵化し、成虫になることがあります。日にちはもっと長くなります。

今回、17件中12件が精米から1ヶ月ほど経過しているお米で虫が発生していることから、糠部分に残っていた卵が保存期間中に孵化したものと考えられます。なお、1ヶ月以内に虫が発生している5件中3件は、米びつ・ライサーなどで保存中に虫が発生しており、米びつ・ライサーの隙間や隅に残った糠や虫の卵が孵化したものと考えられます。

#### 対策

お米は温度の上がり過ぎない場所で保存し、1ヶ月以内をめぐりに使い切る事をおすすめします。

#### 【米びつ・ライサーを使用時の注意】

ライサーは四隅に古い米や糠が残しやすい構造になっているため、その上に新しいお米を入れると古いお米はいつまでも残ったままになります。これが時々新しいお米に混ざって出る場合があり、虫の発生原因にもつながります。ライサー内のお米は必ず使い切っていたとき、ライサー内に付着している「糠」を乾いたタオル等できれいに拭き取った後(時には陰干しを

行う)、新しいお米を入れることをおすすめします。(米袋やビニール袋での保存は、虫によっては「かじる」力の強い害虫や通気孔から侵入する場合があります。)

また、お米は長期保存を避け、購入後1ヶ月程度で使いきれぬ量を目安として購入し、温度変化の少ない涼しい場所(15℃以下)での保存が理想です。長期保存の場合は密閉容器に移して冷蔵庫で保管されることをおすすめします。

## お店の衛生点検

このコーナーでは、コープのお店の衛生管理の改善向上にとりくんでいる様子を紹介します。

### コープ加賀田

今回はコープ加賀田の水産部門の作業場を点検しました。作業場では生ものの商品を取り扱っているため鮮度や衛生管理に不備がないか点検しました。



加工場の中の冷蔵庫や冷凍庫の整理整頓は常に心がけてきれいにしています。また日々の清掃では人によって仕上がりや異なり苦労していますが、作業員全員が同じレベルを維持できるように指導しています。水産物では生ものを多く取り扱いますので、使用する器具の洗浄や殺菌、また異物が混入することのないよう充分気をつけ、私たちの作った商品を組合員さんがいつも安心して利用していただけるような商品づくりをしています。

前回点検時 ●作業場冷蔵庫の棚の備品や商品が煩雑になっており、器具類の汚染や商品の取り間違いなどが考えられたので是正を請願しました。

今回点検時 ●前回の指摘事項はすべて改善されていました。特に冷蔵庫の整理についてはバットを使用目的で区分したり、調味料を種類別に整理するなど、間違いが起らないよう整理整頓する工夫がされていました。

●点検者総評..... 作業場の中や冷蔵庫・冷凍庫は整理整頓されており、加工場、作業員の衛生管理状態に問題はありませんでした。ただ、作業場の扉が解放状態の時間が長いため、常に閉めるように指導しました。今後も定期的にチェックを行っていきます。



定期的点検しています	衛生点検	ふきとり検査
お店の従業員や加工場などが清潔に保たれているかをチェック項目に添って抜き打ちで点検します。	加工場の包丁やまな板などの調理器具にばい菌が付着していないかをコープ・ラボで検査します。	

## ラボちゃんねる

### コープ・ラボの検査室をのぞいてみよう

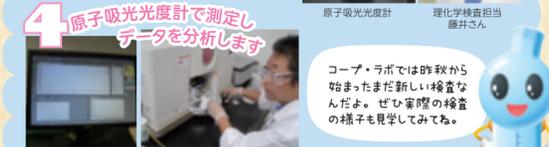
#### 重金属検査室 (玄米中のカドミウム簡易検査)

土壌に含まれるカドミウムは、稲が吸い上げることでお米に含まれることがあります。その摂取量が多いと腎臓などの健康被害が起こる可能性があるため、基準を超えて含有していないか検査をしています。(食品中のカドミウム国内基準は、0.4mg/kg) 同時に銅、鉛の混入についても検査しています。



#### 3 溶液をろ過します

簡易検査で基準の1/2以上の濃度が検出された場合、検査方法を変えて再検査をします。



コープ・ラボでは昨秋から始まった新しい検査なんだよ。ぜひ実際の検査の様子も見てみてね。